



南中だより

令和6年6月25日発行

No. 7

沼田市立沼田南中学校

【学校教育目標(具体目標)】「英知」「礼節」「強健」

【自己を磨き、他に尽くす 尽くされたら感謝の気持ちを表そう】

リレー講座：総合的な学習の時間 (6月14日)

本校では、総合的な学習の時間に「ぬまた未来創造学」を行っています。自分なりの課題をもって、地域の方々の話を聞かせていただいたり、調べたりしながら、地域に関する自分の思いや考えをまとめています。さらには、ふるさとのよさに気付きながら自分事として何ができるか考え、実践につなげることを目指しています。この学習の一環として、リレー講座を行いました。まず、利根実業高校から研究発表があり、新種のリングづくりや新商品トマ豚汁の開発など、大変興味のある話を聞くことができました。その後、利根沼田歴史散歩の会事務局長の高山 正様を講師にお招きし、『沼田市の歴史』～地形に影響され続けた沼田～と題して話を聞きました。大正時代に開通した利根軌道(鉄道)の写真是、当時の様子が分かり親しみを持ちながら聞くことができました。授業後の生徒の学びを紹介します。



- ・トマ豚汁の話は、規格外の廃棄野菜を使用することで、食品ロスにつながりとても感心しました。沼田は気候に恵まれ、都市部にも近いので新鮮なうちに出荷できる利点をもっと生かしていけるとよいと思いました。農業に興味をもつことがはじめの一歩だと思います。
- ・地形にはたくさんの沼田の歴史が詰まっていることを知りました。特に南中の場所に利根軌道が通っていたのが衝撃的でした。個人的に調べてみたいと思います。



吹奏楽部による老人ホームで演奏会

吹奏楽部では、前年度から話し合ってきた念願の訪問演奏が実現しました。「地域に貢献したい。音楽で人を幸せにしたい。」という思いから、特別養護老人ホームとね虹の里に行かせていただきました。演奏できた喜びと多くの感動を味わうことができました。このように「演奏してよかった。」「曲を聴かせてもらえて元気になった。」と、どちらも満足する関係(Win-Winの関係)をこれからも築いていきたいと思います。

- ・ドキドキ、わくわく、緊張、不安など重なり変な気分でした。本番は大変なことを忘れてずっと笑顔でいることができました。演奏で人を笑顔にするすばらしさを実感しました。
- ・予想をはるかに上回る大成功でした。大きくうなずいてくれる人がいてとても嬉しかったです。
- ・ふるさとの曲では私の字で歌詞が読みにくかったと思うけど、おばあちゃん、おじいちゃんたちが一生懸命歌ってくれていたのが吹きながら泣きそうになりました。
- ・最後に握手したとき、手がとても温かくてぬくもりを感じました。



全7曲を演奏しました



演奏に合わせてダンス



肩たたきしながら...